

# 連載 第22回 福聚山史

池浦 泰憲 文  
及川 一晋 編

## 大正から昭和にかけて

### 4、及川眞能上人の教え 弟子の述懐から

平成三年三月二十日、当山三十七世及川眞学上人が、毎月二十日に開かれる檀信徒の信行会「法華感話会」の法話にて、師匠であり、養父である当山三十三世及川眞能上人について語っている（平成六年発行『本妙院日修上人遺香』に「親父の思い出」として収録）。

連載第十九回では、眞能上人の臨終の姿からその人物像に触れたが、今回は弟子である眞学上人の述懐から眞能上人の姿に触れてみたい。

#### 全体を見る眼

ある日、眞能上人は自身の部屋（方丈）を見てくるように命じる。眞学上人は日頃から師の部屋の掃除を言いつかっており、数日前にその不手際をしかられたばかりであった。またも掃除の失策かと部屋をのぞいたが、細心の注意を払い掃除をした部屋には悪いところは見あたらない。師のもとに戻った眞学上人は、不服な顔で「どこが悪いのですか」と尋ねると、「おまえは何を見てきた」「掃除のことでしょう」

「いやそつではない。おまえが掃除をした後、私は床の間に今日は掃を生けたんだ。我ながらよう映えるなあと思つたから、おまえに見てもらおうと呼んだんだ」  
そして、

「おまえは部屋にあがつて一つしか物が見えんのか。まんべんなくものは見なければいけないよ。一点しか注意がいかないときは片手落ちになるんだ。部屋は暗いけど、全体を見渡せば、花が生けてあつてきれいだということに気がつくはずだ。おまえが最初に入ったときにおまえの目は曇つていた。だから美しい物が見えなかつた。ほこりばかりをおまえは探していたんだ」

そのとき眞学上人は「へえー」と言うしかなかつたが「親父は一面こんな優しい気持ちをもつておつたのか」と思ったという。

#### 小さく集めた物を大きく使え

東京で常円寺といえは、お金持ちの寺といふことになっており、眞能上人は日々の生活に追われるようなことはなくのんびりしているようなところがあった。といつて日常は晩年に至るまで温泉にも映画にも行くことはなかつた。眞学上人によれば、「たまさか年に二、三回銀座の鳩居堂で、書が上手だったから筆と墨を買いに行った

とき、側の天鉄羅屋「天金」に入つて一杯飲んで、薄い経木におみやげを持ってかえつてきた憶えがある。それが楽しみといふか、それくらいいざいたくをしなかつたといふ。「だから私はお布施で入つてきたお金はどうしているのか」と思つていた。しかし眞能上人は、大学を建てますとか、社会事業には、宗門には、など出すべきときには惜しみなく出していた。眞能上人は「眞学、ここは細かく入つて大きく出すお寺だよ」と言つたそつである。

眞能上人が常円寺ほか住職した諸寺において、伽藍の普纏と子弟の教育、檀信徒の教化に努めてきたこと、また子弟教育への熱意が財団法人「日蓮宗真統會」の設立へ結実したことはすでに触れた（連載第十九回）。また、立正大学の前身である日蓮宗大学の創設にあつても、弟子柴田一能師とともに、自ら現場に立ち奔走した（連載第二十一回）。

ある事業を成し遂げようといつとき、経済的な負担が必要となるのは当然のこと



昭和9年、寿像贈呈式  
およがわしんのつ およがわしんがく  
及川眞能上人(左)と及川眞学上人(右)

である。そうした大事業を前に眞能上人は惜しみなく財を捧げていったのである。お檀家を持つてきてくれるのは決して大きな金額ではない。いくら東京のお金持ちといわれる寺とはいつても、百円札など珍しく、一円が五十銭のお布施の時代だつた。しかし幸いにも当山はその数が多い。そうしたお檀家の一人一人が捧げてくれた大切な志を、教育の、社会の、宗門の大きな事業のために捧げたのである。

眞能上人が立ち上げた財団法人「日蓮宗真統會」は、今も当山をその事務所として宗門僧侶の子弟教育のために力を注ぎ続けている。また、眞能上人が再興した当山の本堂は戦争によって焼け落ちてしまつたが、晩年着手された鐘樓堂や土蔵や通用門は残っている。眞能上人が常に全体を見通しつつ創つた、これらの事業や組織、堂舎は、今もなお当初の役割をもつて存在している。

そして、それらとともに眞能上人の教えも師弟を通じて受け継がれ、今なお柱石として当山を支えているのである。

臨終の日、眞能上人は眞学上人に「今日死ぬよ。だから清浄衣を持ってこい」と言う。ベットに臥せる師匠をおいて帰ることをためらっていると、「早くもつてこい」と怒つたそつである。やむを得ず眞学上人は、お寺に戻つて袈裟衣を持ってくる。師父はそれを着け臨終を迎える。その様子は先述（連載第十九回）の通りである。

今日二十日は第三十三世及川眞能上人のご命日である。そして、その前日十九日には、第三十七世及川眞学上人（本妙院日修上人）の第十七回忌を迎える。（つづく）